

新潟市区のあり方検討委員会 概要（速報版）

第2回	
日 時	平成27年10月14日（水）15時00分～17時00分
会 場	白山会館 2階 胡蝶
出席者	委員 碓井光明座長，長谷川雪子副座長，伊藤正次委員，大橋誠五委員， 奥寺洋子委員，渡邊忠芳委員，足立定夫委員，新藤幸生委員， 小田信雄委員，真嶋民雄委員，如澤寛委員，青木千代子委員， 下坂忠彦委員
	事務局等 加藤理事，高橋地域・魅力創造部長，三浦地域・魅力創造部次長
傍聴者	13名（うち報道4名）
主な議題	<p>○ 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 加藤理事あいさつ <p>○ 議題（1）第1回委員会における要求資料について 【資料1，1-1，1-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，第1回委員会で要求のあった資料などについて説明。 <p>○ 議題（2）論点整理について【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 4つの論点について委員会で議論。 <p>◆ 論点① 総合区制度への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，総合区制度の詳細や現行の新潟市の区との比較などについて説明。 <p>＜主な意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在，新潟市が導入している区長公募制の検証が必要との意見や，総合区を導入する場合，全市に導入するか，一部に導入するかの基準をどうするか，また，総合区長の4年の任期は区民との協働という意味においても必要な任期であるといった意見がありました。 <p>◆ 論点② 区の権限強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 事務局より，これまで進めてきた区の権限強化についての新潟市の考え方・取組などについて説明。 <p>＜主な意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は，区役所が窓口となって地域の方々のニーズを満たしていく部分と，全市で考えなければいけない部分の組合せについて，きめ細かい議論が必要との意見や，区で業務を実施することと，区における意思決定の権限があるかないかというのは別問題であるといった意見がありました。

◆論点③ ガバナンスのあり方について

- 事務局より、新潟市の現行の常任委員会の設置状況や区常任委員会にかかる過去の検討経緯などについて説明。また、議会以外のチェック機能等について、市民が市政・区政に関わる主な機会などを説明。

＜主な意見内容＞

- ・ 現状の新潟市の常任委員会について、区を単位とする常任委員会がなく区政に対するガバナンスが不十分であるとの意見があった一方、これまでの経緯を踏まえ、現行体制がとられているとの意見がありました。

◆論点④ 区の規模や数について

- 事務局より、政令市移行時の新潟市行政区画審議会（平成17年8月）の行政区画の編成及び区役所の位置に関する答申の考え方などについて説明。

＜主な意見内容＞

- ・ 合併からまだ間もないため、現状の8区体制のまま、それぞれ与えられた地域をどうするかということを経域の人たちにもっと議論してもらった時間があるといいという意見があった一方、人口減少で20年経ったら2割減るといのがほぼ確実という中で、将来的に市が成り立つのかという持続可能性の部分を見据えて区のあり方を考えるべきとの意見がありました。

○ 閉会

会議資料

- 次 第
- 座 席 表
- 資 料 1：第1回委員会における要求資料について
- 資料1-1：新潟市財政予測計画
- 資料1-2：区に関する各種データ等一覧
- 資 料 2：論点整理について

※ 詳細については、後日、改めて掲載いたします。